

ダイワ豪ドル建て 高利回り証券α (毎月分配型)

運用報告書(全体版)

第57期 (決算日 2019年5月17日)
第58期 (決算日 2019年6月17日)
第59期 (決算日 2019年7月17日)
第60期 (決算日 2019年8月19日)
第61期 (決算日 2019年9月17日)
第62期 (決算日 2019年10月17日)

(作成対象期間 2019年4月18日～2019年10月17日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、豪ドル建てのハイブリッド証券および普通社債等に投資するとともに、オプション取引を組み合わせた通貨カバードコール戦略を構築し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先 (コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/資産複合
信託期間	10年4カ月間(2014年6月18日～2024年10月17日)
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ、ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ・オーストラリア・ハイインカム・セキュリティーズ・ファンド(通貨αクラス)」の受益証券(円建) ロ、ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの受益証券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

最近30期の運用実績

決算期	基準価額				公社債 組入比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配 み金	期騰 落	中率			
	円	円		%	%	%	百万円
33期末（2017年5月17日）	6,835	80		1.8	0.0	99.5	11,069
34期末（2017年6月19日）	6,779	80		0.4	0.0	99.0	10,821
35期末（2017年7月18日）	6,942	80		3.6	—	99.2	10,795
36期末（2017年8月17日）	6,840	80	△	0.3	—	99.1	10,424
37期末（2017年9月19日）	6,845	80		1.2	—	98.9	10,181
38期末（2017年10月17日）	6,769	80		0.1	—	98.6	9,866
39期末（2017年11月17日）	6,584	80	△	1.6	—	99.0	9,433
40期末（2017年12月18日）	6,552	60		0.4	—	98.4	9,134
41期末（2018年1月17日）	6,608	60		1.8	—	98.4	8,998
42期末（2018年2月19日）	6,266	60	△	4.3	—	99.5	8,335
43期末（2018年3月19日）	6,108	60	△	1.6	—	98.8	8,013
44期末（2018年4月17日）	6,145	60		1.6	—	98.3	7,992
45期末（2018年5月17日）	6,070	60	△	0.2	—	98.6	7,749
46期末（2018年6月18日）	6,031	60		0.3	—	98.7	7,531
47期末（2018年7月17日）	6,059	60		1.5	—	99.1	7,455
48期末（2018年8月17日）	5,877	60	△	2.0	—	98.6	7,186
49期末（2018年9月18日）	5,884	60		1.1	—	98.4	7,052
50期末（2018年10月17日）	5,811	60	△	0.2	—	98.7	6,857
51期末（2018年11月19日）	5,868	60		2.0	—	99.0	6,780
52期末（2018年12月17日）	5,740	60	△	1.2	—	99.0	6,528
53期末（2019年1月17日）	5,492	60	△	3.3	—	99.3	6,178
54期末（2019年2月18日）	5,546	40		1.7	—	99.3	6,168
55期末（2019年3月18日）	5,572	40		1.2	—	98.8	6,035
56期末（2019年4月17日）	5,632	40		1.8	—	99.1	6,012
57期末（2019年5月17日）	5,366	40	△	4.0	—	98.9	5,663
58期末（2019年6月17日）	5,292	40	△	0.6	—	98.7	5,406
59期末（2019年7月17日）	5,398	40		2.8	—	98.9	5,362
60期末（2019年8月19日）	5,130	40	△	4.2	—	99.0	5,016
61期末（2019年9月17日）	5,183	40		1.8	—	98.1	4,915
62期末（2019年10月17日）	5,149	40		0.1	—	98.7	4,711

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

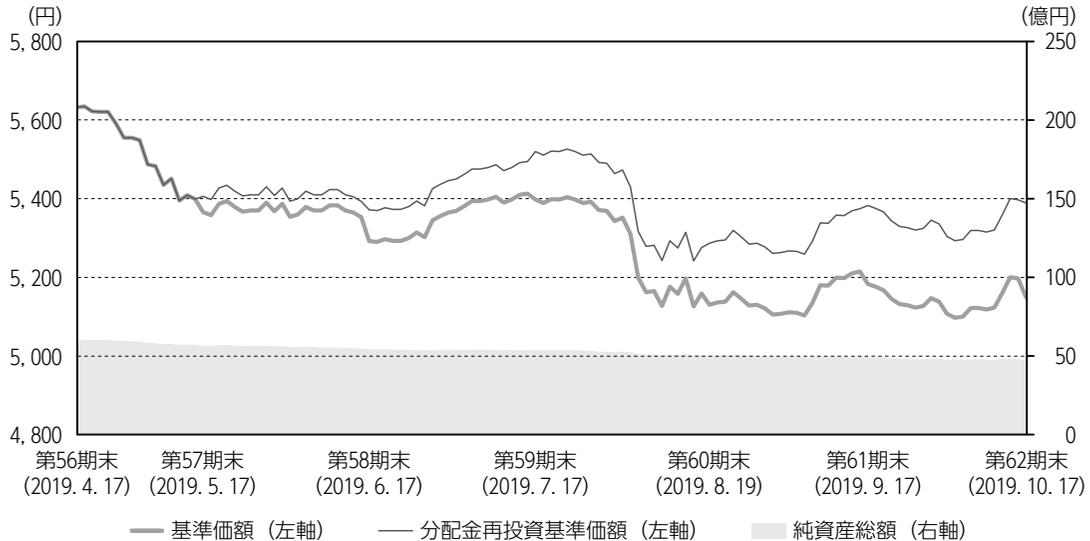
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第57期首：5,632円

第62期末：5,149円（既払分配金240円）

騰落率：△4.3%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

豪ドル建ての普通社債およびハイブリッド証券が堅調な動きとなったことや通貨オプションのプレミアム収入などは基準価額の上昇要因となりましたが、豪ドルが対円で下落（円高）したことが基準価額の下落要因となり、当ファンドの基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ豪ドル建て高利回り証券α（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		円	騰 落 率 %		
第57期	(期首) 2019年4月17日	5,632	—	—	99.1
	4月末	5,555	△ 1.4	—	99.1
	(期末) 2019年5月17日	5,406	△ 4.0	—	98.9
第58期	(期首) 2019年5月17日	5,366	—	—	98.9
	5月末	5,387	0.4	—	97.7
	(期末) 2019年6月17日	5,332	△ 0.6	—	98.7
第59期	(期首) 2019年6月17日	5,292	—	—	98.7
	6月末	5,356	1.2	—	99.0
	(期末) 2019年7月17日	5,438	2.8	—	98.9
第60期	(期首) 2019年7月17日	5,398	—	—	98.9
	7月末	5,343	△ 1.0	—	98.0
	(期末) 2019年8月19日	5,170	△ 4.2	—	99.0
第61期	(期首) 2019年8月19日	5,130	—	—	99.0
	8月末	5,107	△ 0.4	—	98.5
	(期末) 2019年9月17日	5,223	1.8	—	98.1
第62期	(期首) 2019年9月17日	5,183	—	—	98.1
	9月末	5,147	△ 0.7	—	99.3
	(期末) 2019年10月17日	5,189	0.1	—	98.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2019. 4. 18 ~ 2019. 10. 17）

■ オーストラリア債券市況

オーストラリア債券市況は、金利は低下（債券価格は上昇）しました。

当作成期首より、米中通商協議への懸念が高まったことやRBA（オーストラリア準備銀行）を含めた各国の中央銀行が金融緩和に前向きな姿勢を示したことなどから、金利は低下しました。2019年9月に入ると、米中通商協議などへの懸念が和らいだことなどから、金利は上昇しましたが、RBAの利下げ期待が高まる中で再度金利は低下する局面もありました。

豪ドル建ての社債およびハイブリッド証券は、低金利環境で高利回りを追求する動きに支えられて、堅調に推移しました。APRA（オーストラリア健全性規制庁）により、主要銀行はティア2（適格資本として国際標準である補完的項目）に属する証券の発行を通じて、2024年までに総資本を3%増やすことを求められました。これにより、供給増による需給悪化が予想されるにもかかわらず、豪ドル建てのハイブリッド証券市場で最近発行されたティア2に属する証券は、投資家の強い需要に支えられ順調に消化されました。

■ 為替相場

豪ドルは対円で下落しました。

当作成期首より、米中通商協議への懸念が高まったことやRBA（オーストラリア準備銀行）の利下げ観測が強まったことなどから、豪ドル円は下落しました。その後はおおむね横ばいで推移しましたが、2019年8月に入るとトランプ米国大統領が中国製品に対する関税率を引き上げる方針を示したことなどから市場のリスク回避姿勢が強まり、さらに円高が進みました。9月に入ると、米中通商協議などへの懸念が和らいだことなどから、豪ドル円は上昇しましたが、RBAの利下げ期待が高まる中で再度豪ドル円は下落する局面もありました。

■ 通貨オプション市況

通貨オプションのインプライド・ボラティリティ（予想変動率）は上昇しました。

当作成期首から2019年5月前半にかけては、米中貿易摩擦への懸念から豪ドル円が下落するなど、市場の警戒感が強まったことで、ボラティリティは上昇しました。その後は、市場が落ち着きを取り戻し豪ドル円の値動きも落ち着いた推移となったことから、ボラティリティは低下しました。しかし8月に入ると、米中貿易摩擦への懸念が再燃し豪ドル円も急落したことで、ボラティリティは急上昇しました。8月後半以降は、米中貿易摩擦への懸念が和らいだことを受けて、ボラティリティは低下しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

当ファンドは、ダイワ・オーストラリア・ハイインカム・セキュリティーズ・ファンド（通貨αクラス）とダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資し、ダイワ・オーストラリア・ハイインカム・セキュリティーズ・ファンド（通貨αクラス）への投資割合を高位に維持することをめざします。

※ダイワ・オーストラリア・ハイインカム・セキュリティーズ・ファンド（通貨αクラス）：ダイワ・プレミアム・トラスト・ダイワ・オーストラリア・ハイインカム・セキュリティーズ・ファンド（通貨αクラス）

■ダイワ・オーストラリア・ハイインカム・セキュリティーズ・ファンド（通貨αクラス）

普通社債とハイブリッド証券の起債については、今後も一定程度の募集がある状況が継続するとみています。引き続き、新規発行および流通市場の状況を注視しながら、特にリスク対比で高い利回りを提供するハイブリッド証券の発掘に注力します。

通貨カバードコール戦略については、保有する豪ドル建資産の評価額の50%程度のコール・オプションを売却することで、オプションプレミアムの獲得をめざします。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2019. 4. 18 ~ 2019. 10. 17)

■当ファンド

当ファンドは、ダイワ・オーストラリア・ハイインカム・セキュリティーズ・ファンド（通貨αクラス）とダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じてダイワ・オーストラリア・ハイインカム・セキュリティーズ・ファンド（通貨αクラス）への投資割合を高位に維持することを基本としました。

■ダイワ・オーストラリア・ハイインカム・セキュリティーズ・ファンド（通貨αクラス）

豪ドル建ての普通社債およびハイブリッド証券等への投資により、高利回りの獲得をめざすとともに、通貨のオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略の構築により、オプションプレミアムの確保をめざして運用を行いました。円に対する豪ドルのコール・オプションのカバー率は、

保有する豪ドル建資産の評価額の50%程度を維持しました。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第57期	第58期	第59期	第60期	第61期	第62期
	2019年4月18日 ～2019年5月17日	2019年5月18日 ～2019年6月17日	2019年6月18日 ～2019年7月17日	2019年7月18日 ～2019年8月19日	2019年8月20日 ～2019年9月17日	2019年9月18日 ～2019年10月17日
当期分配金(税込み) (円)	40	40	40	40	40	40
対基準価額比率 (%)	0.74	0.75	0.74	0.77	0.77	0.77
当期の収益 (円)	40	40	40	38	39	36
当期の収益以外 (円)	—	—	—	1	0	3
翌期繰越分配対象額 (円)	65	66	69	68	67	63

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	第57期	第58期	第59期	第60期	第61期	第62期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 42.87円	✓ 40.35円	✓ 43.30円	✓ 38.77円	✓ 39.15円	✓ 36.28円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	34.44	34.51	34.59	34.84	34.91	35.01
(d) 分配準備積立金	28.41	31.21	31.50	✓ 34.55	✓ 33.26	✓ 32.33
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	105.73	106.08	109.40	108.18	107.33	103.63
(f) 分配金	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	65.73	66.08	69.40	68.18	67.33	63.63

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

当ファンドは、ダイワ・オーストラリア・ハイインカム・セキュリティーズ・ファンド（通貨αクラス）とダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資し、ダイワ・オーストラリア・ハイインカム・セキュリティーズ・ファンド（通貨αクラス）への投資割合を高位に維持することをめざします。

■ダイワ・オーストラリア・ハイインカム・セキュリティーズ・ファンド（通貨αクラス）

普通社債とハイブリッド証券の起債については、今後も一定程度の募集がある状況が継続するとみています。引き続き、新規発行および流通市場の状況を注視しながら、特にリスク対比で高い利回りを提供するハイブリッド証券の発掘に注力します。

通貨カバードコール戦略については、保有する豪ドル建資産の評価額の50%程度のコール・オプションを売却することで、オプションプレミアムの獲得をめざします。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第57期～第62期 (2019. 4. 18～2019. 10. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	31円	0.583%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は5,301円です。
（投 信 会 社）	(9)	(0.162)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(21)	(0.405)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 銀 行）	(1)	(0.016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	1	0.020	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託受益証券）	(1)	(0.020)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	32	0.606	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

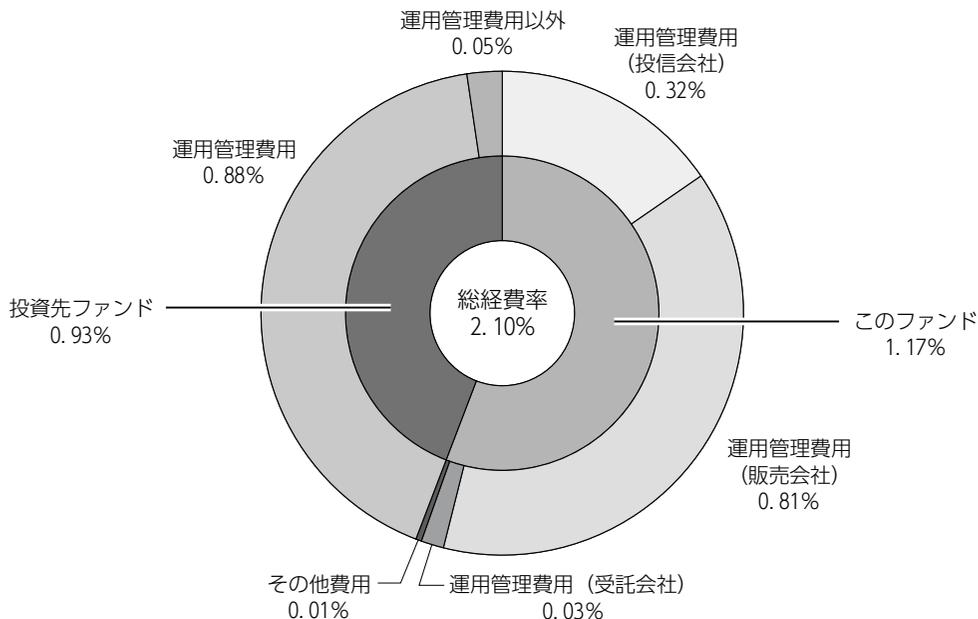
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.10%です。



総経費率 (① + ② + ③)	2.10%
①このファンドの費用の比率	1.17%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.88%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.05%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2019年4月18日から2019年10月17日まで)

決算期	第 57 期 ～ 第 62 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	5,019.72583	265,663	20,250.30452	1,078,920

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2019年4月18日から2019年10月17日まで)

第 57 期 ～ 第 62 期							
買 付				売 付			
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				DAIWA AUSTRALIAN HIGH INCOME SECURITIES FUND (CURRENCY ALPHA CLASS) (ケイマン諸島)	20,250.30452	1,078,920	53

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 62 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) DAIWA AUSTRALIAN HIGH INCOME SECURITIES FUND (CURRENCY ALPHA CLASS)	89,290.65572	4,650,078	98.7

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第56期末	第 62 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	9	9	9

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年10月17日現在

項 目	第 62 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	4,650,078	96.2
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	9	0.0
コール・ローン等、その他	181,821	3.8
投資信託財産総額	4,831,910	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ豪ドル建て高利回り証券α（毎月分配型）

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年5月17日)、(2019年6月17日)、(2019年7月17日)、(2019年8月19日)、(2019年9月17日)、(2019年10月17日) 現在

項 目	第57期末	第58期末	第59期末	第60期末	第61期末	第62期末
(A) 資産	5,719,865,640円	5,482,099,718円	5,422,568,504円	5,079,697,113円	5,041,695,458円	4,891,850,384円
コール・ローン等	116,283,128	148,184,231	116,572,603	112,875,421	100,821,220	121,881,638
投資信託受益証券（評価額）	5,603,572,531	5,333,905,506	5,305,985,921	4,966,811,713	4,820,984,259	4,650,078,769
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド（評価額）	9,981	9,981	9,980	9,979	9,979	9,978
未収入金	—	—	—	—	119,880,000	119,879,999
(B) 負債	56,773,500	75,562,857	60,026,549	63,659,873	126,192,155	180,536,717
未払金	—	—	—	—	59,940,000	59,940,000
未払収益分配金	42,211,455	40,869,354	39,737,768	39,114,378	37,934,820	36,602,217
未払解約金	8,879,641	29,087,252	15,018,708	18,909,019	23,524,162	79,122,016
未払信託報酬	5,640,620	5,527,289	5,153,765	5,482,310	4,606,360	4,653,190
その他未払費用	41,784	78,962	116,308	154,166	186,813	219,294
(C) 純資産総額（A－B）	5,663,092,140	5,406,536,861	5,362,541,955	5,016,037,240	4,915,503,303	4,711,313,667
元本	10,552,863,849	10,217,338,596	9,934,442,211	9,778,594,602	9,483,705,170	9,150,554,477
次期繰越損益金	△ 4,889,771,709	△ 4,810,801,735	△ 4,571,900,256	△ 4,762,557,362	△ 4,568,201,867	△ 4,439,240,810
(D) 受益権総口数	10,552,863,849口	10,217,338,596口	9,934,442,211口	9,778,594,602口	9,483,705,170口	9,150,554,477口
1万口当り基準価額（C/D）	5,366円	5,292円	5,398円	5,130円	5,183円	5,149円

*第56期末における元本額は10,675,365,846円、当作成期間（第57期～第62期）中における追加設定元本額は242,522,029円、同解約元本額は1,767,333,398円です。

*第62期末の計算口数当りの純資産額は5,149円です。

*第62期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は4,439,240,810円です。

■損益の状況

第57期 自2019年4月18日 至2019年5月17日 第59期 自2019年6月18日 至2019年7月17日 第61期 自2019年8月20日 至2019年9月17日
 第58期 自2019年5月18日 至2019年6月17日 第60期 自2019年7月18日 至2019年8月19日 第62期 自2019年9月18日 至2019年10月17日

項 目	第57期	第58期	第59期	第60期	第61期	第62期
(A) 配当等収益	50,927,365円	46,800,150円	44,559,351円	43,438,635円	39,076,399円	37,887,708円
受取配当金	50,929,793	46,804,891	44,563,589	43,444,988	39,080,323	37,890,899
受取利息	9	29	83	23	156	69
支払利息	△ 2,437	△ 4,770	△ 4,321	△ 6,376	△ 4,080	△ 3,260
(B) 有価証券売買損益	△ 282,881,482	△ 76,863,397	106,049,000	△ 260,901,466	54,229,747	△ 28,093,765
売買益	2,324,201	835,190	107,058,074	1,952,221	54,484,947	1,415,085
売買損	△ 285,205,683	△ 77,698,587	△ 1,009,074	△ 262,853,687	△ 255,200	△ 29,508,850
(C) 信託報酬等	△ 5,684,233	△ 5,566,367	△ 5,191,111	△ 5,521,072	△ 4,639,007	△ 4,685,751
(D) 当期損益金（A + B + C）	△ 237,638,350	△ 35,629,614	145,417,240	△ 222,983,903	88,667,139	5,108,192
(E) 前期繰越損益金	△ 3,910,006,150	△ 4,048,210,863	△ 4,001,352,616	△ 3,806,973,087	△ 3,937,786,556	△ 3,741,104,438
(F) 追加信託差損益金	△ 699,915,754	△ 686,091,904	△ 676,227,112	△ 693,485,994	△ 681,147,630	△ 666,642,347
(配当等相当額)	(36,352,947)	(35,264,643)	(34,367,088)	(34,073,244)	(33,115,246)	(32,036,897)
(売買損益相当額)	(△ 736,268,701)	(△ 721,356,547)	(△ 710,594,200)	(△ 727,559,238)	(△ 714,262,876)	(△ 698,679,244)
(G) 合計（D + E + F）	△ 4,847,560,254	△ 4,769,932,381	△ 4,532,162,488	△ 4,723,442,984	△ 4,530,267,047	△ 4,402,638,593
(H) 収益分配金	△ 42,211,455	△ 40,869,354	△ 39,737,768	△ 39,114,378	△ 37,934,820	△ 36,602,217
次期繰越損益金（G + H）	△ 4,889,771,709	△ 4,810,801,735	△ 4,571,900,256	△ 4,762,557,362	△ 4,568,201,867	△ 4,439,240,810
追加信託差損益金	△ 699,915,754	△ 686,091,904	△ 676,227,112	△ 693,485,994	△ 681,147,630	△ 666,642,347
(配当等相当額)	(36,352,947)	(35,264,643)	(34,367,088)	(34,073,244)	(33,115,246)	(32,036,897)
(売買損益相当額)	(△ 736,268,701)	(△ 721,356,547)	(△ 710,594,200)	(△ 727,559,238)	(△ 714,262,876)	(△ 698,679,244)
分配準備積立金	33,013,084	32,261,451	34,582,143	32,597,933	30,744,954	26,190,294
繰越損益金	△ 4,222,869,039	△ 4,156,971,282	△ 3,930,255,287	△ 4,101,669,301	△ 3,917,799,191	△ 3,798,788,757

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第57期	第58期	第59期	第60期	第61期	第62期
(a) 経費控除後の配当等収益	45,243,132円	41,233,783円	43,023,301円	37,917,563円	37,133,583円	33,201,957円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	36,352,947	35,264,643	34,367,088	34,073,244	33,115,246	32,036,897
(d) 分配準備積立金	29,981,407	31,897,022	31,296,610	33,794,748	31,546,191	29,590,554
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	111,577,486	108,395,448	108,686,999	105,785,555	101,795,020	94,829,408
(f) 分配金	42,211,455	40,869,354	39,737,768	39,114,378	37,934,820	36,602,217
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	69,366,031	67,526,094	68,949,231	66,671,177	63,860,200	58,227,191
(h) 受益権総口数	10,552,863,849口	10,217,338,596口	9,934,442,211口	9,778,594,602口	9,483,705,170口	9,150,554,477口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万 口 当 り 分 配 金	第57期	第58期	第59期	第60期	第61期	第62期
		40円	40円	40円	40円	40円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ダイワ豪ドル建て高利回り証券α（毎月分配型）

ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ・オーストラリア・
ハインカム・セキュリティーズ・ファンド（通貨αクラス）

当ファンド（ダイワ豪ドル建て高利回り証券α（毎月分配型））はケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ・オーストラリア・ハインカム・セキュリティーズ・ファンド（通貨αクラス）」の受益証券に投資しております。以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2019年10月17日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（豪ドル建て）

貸借対照表
2019年3月29日

資産

投資資産の評価額（簿価 \$122,482,038）	\$	139,335,860
現金		2,747,014
外国為替先渡契約による評価益		55
未収：		
売却済みの投資		580,756
配当		69,712
利息		701,816
カウンターパーティへの預託金		270,000
その他資産		459
資産合計		143,705,672

負債

売建てオプションの評価額（受取プレミアム \$451,254）		320,823
未払：		
購入済みの投資		22,599
専門家報酬		79,745
運用会社報酬		79,191
保管会社報酬		16,302
会計および管理会社報酬		15,185
為替運用会社報酬		6,470

名義書換代理人報酬		3,140
登録料		1,947
負債合計		545,402
純資産	\$	143,160,270
純資産		
クラス A	\$	67,239,077
通貨αクラス		75,921,193
	\$	143,160,270
発行済み受益証券口数		
クラス A		56,111,784
通貨αクラス		105,726,707
受益証券1口当り純資産額		
クラス A	\$	1.198
通貨αクラス	\$	0.718

損益計算書

2019年3月29日に終了した年度

投資収益	
受取利息（源泉税 \$61,789 控除後）	\$ 3,919,063
配当収益（源泉税 \$33,833 控除後）	801,889
その他収益	7,585
投資収益合計	4,728,537
費用	
運用会社報酬	1,033,415
会計および管理会社報酬	95,196
為替運用会社報酬	85,054
保管会社報酬	84,545
専門家報酬	78,003
受託会社報酬	35,425
名義書換代理人報酬	21,315
登録料	3,304
その他費用	259
費用合計	1,436,516
投資純利益	3,292,021
実現益（損）および評価益（損）：	
実現益（損失）：	
証券投資	9,650,758
売建オプション	1,838,516
外国為替取引および外国為替先渡契約	(27,032)
純実現利益	11,462,242
評価益（損）の純変動：	
証券投資	(3,174,163)
売建オプション	(237,437)
外国為替換算および外国為替先渡契約	(1,663)
評価損の純変動	(3,413,263)
純実現益（損）および評価益（損）の純変動	8,048,979
運用による純資産の純増	\$ 11,341,000

投資明細表
2019年3月29日

元本	証券の明細	評価額
	債券 (84.4%)	
	オーストラリア (82.8%)	
	社債 (82.8%)	
AUD 1,250,000	AAI, Ltd. (a), (b) 4.92% due 2042/10/6	\$ 1,305,909
AUD 5,000,000	AGL Energy, Ltd. (a) 5.00% due 2021/11/5	5,246,905
AUD 5,000,000	Ale Direct Property Trust (a) 4.00% due 2022/8/20	5,127,380
AUD 5,000,000	Alumina, Ltd. (a) 5.50% due 2019/11/19	5,056,705
AUD 1,500,000	AMP, Ltd. (a), (b) 4.72% due 2028/11/15	1,497,222
AUD 5,000,000	5.87% (c)	4,998,380
AUD 940,000	Aurizon Network Pty, Ltd. (a) 4.00% due 2024/6/21	971,913
AUD 3,000,000	Australia & New Zealand Banking Group, Ltd. (b) 2.91% due 2023/12/6	3,017,664
AUD 45,406	Australian Unity, Ltd. (b) 4.86% due 2020/12/15	4,654,569
AUD 1,500,000	Bank of Queensland, Ltd. (a), (b), (c) 6.47%	1,518,047
AUD 2,000,000	Bendigo & Adelaide Bank, Ltd. (a), (b) 4.32% due 2028/11/30	2,032,160
AUD 3,000,000	Challenger Life Co., Ltd. (a), (b) 3.99% due 2042/11/24	3,007,596
AUD 3,500,000	Commonwealth Bank of Australia (b) 3.19% due 2024/1/11	3,534,643
AUD 89,958	Crown Resorts, Ltd. (a), (b) 5.85% due 2075/4/23	9,173,017
AUD 3,000,000	Downer Group Finance Pty, Ltd. (a) 4.50% due 2022/3/11	3,126,000
AUD 2,000,000	IMF Bentham, Ltd. (a), (b) 5.97% due 2022/12/22	2,002,000
AUD 2,000,000	Incitec Pivot, Ltd. (a) 4.30% due 2026/3/18	2,033,002
AUD 1,500,000	Insurance Australia Group, Ltd. (a), (b) 3.94% due 2044/6/15	1,501,628

ダイワ豪ドル建て高利回り証券α（毎月分配型）

	元本	証券の明細	評価額
AUD	1,000,000	4.13% due 2045/6/15 Macquarie Bank, Ltd. (a), (b), (c)	1,002,761
AUD	4,818	5.17% Macquarie Finance, Ltd. (a), (b), (c)	489,268
AUD	128,538	3.76% Macquarie Group, Ltd. (a), (b), (c)	11,221,367
AUD	5,190	5.84% National Australia Bank, Ltd. (a), (b), (c)	535,089
AUD	145,283	3.22% NEXTDC, Ltd. (a)	12,990,334
AUD	2,500,000	5.61% due 2022/6/9 (b)	2,505,475
AUD	500,000	6.00% due 2022/6/9	507,290
AUD	2,000,000	6.25% due 2021/6/9 PACCAR Financial Pty, Ltd. (a)	2,030,894
AUD	2,000,000	3.00% due 2022/9/13 Pacific National Finance Pty, Ltd.	2,042,984
AUD	750,000	5.25% due 2025/5/19 Peet, Ltd. (b)	814,595
AUD	20,000	6.71% due 2022/10/5 Qube Holdings, Ltd. (b)	2,020,000
AUD	20,000	5.96% due 2023/10/5 SEEK, Ltd. (b)	2,140,000
AUD	5,000,000	4.37% due 2022/4/28 Suncorp Group, Ltd. (a), (b)	5,038,540
AUD	3,500,000	4.03% due 2028/12/5 Suncorp-Metway, Ltd. (a), (b), (c)	3,529,064
AUD	33,991	2.72% Teachers Mutual Bank, Ltd. (b)	2,729,239
AUD	2,000,000	3.14% due 2021/7/2 Virgin Australia Holdings, Ltd.	2,004,766
AUD	2,000,000	8.25% due 2023/5/30 Westpac Banking Corp. (b)	2,059,648
AUD	4,000,000	2.71% due 2023/3/6	4,005,228
AUD	1,000,000	3.61% due 2028/6/22 (a)	994,830
		社債合計	118,466,112
		オーストラリア合計 (簿価 \$102,655,399)	118,466,112

元本	証券の明細	純資産に 占める割合	評価額
	ニュージーランド (1.6%)		
	社債 (1.6%)		
AUD	Nufarm Finance NZ, Ltd. (a), (b), (c)		2,338,509
27,335	6.00%		<u>2,338,509</u>
	社債合計		<u>2,338,509</u>
	ニュージーランド合計 (簿価 \$2,194,099)		<u>2,338,509</u>
	債券合計 (簿価 \$104,849,498)		<u>120,804,621</u>
	株数		
	優先株式 (10.6%)		
	オーストラリア (10.6%)		
	銀行 (6.5%)		
38,504	Commonwealth Bank of Australia (a), (b)		3,759,916
15,508	Commonwealth Bank of Australia/New Zealand (a), (b)		1,578,404
2,000,000	Members Equity Bank, Ltd. (a), (b)		2,044,940
20,000	Westpac Banking Corp. (a), (b)		2,003,800
			<u>9,387,060</u>
	保険 (0.6%)		
7,859	AMP, Ltd. (a), (b)		818,515
	不動産投資信託 (REIT) (3.5%)		
52,692	Multiplex SITES Trust (a), (b)		4,989,932
	オーストラリア合計 (簿価 \$14,295,655)		<u>15,195,507</u>
	優先株式合計 (簿価 \$14,295,655)		<u>15,195,507</u>
	口数		
	MMF (2.3%)		
	オーストラリア (2.3%)		
3,333,809	Yarra A\$ Cash Reserves Fund Class A		3,335,732
	オーストラリア合計		<u>3,335,732</u>
	MMF 合計 (簿価 \$3,336,885)		<u>3,335,732</u>
	投資総額 (簿価 \$122,482,038)	97.3%	\$ 139,335,860
	負債を超過する現金およびその他の資産	2.7	3,824,410
	純資産	<u>100.0%</u>	<u>\$ 143,160,270</u>

投資明細表のすべての有価証券は運用会社の最善の判断に基づいて有価証券の所在地ではなく、リスクの所在国によって分類されています。

- (a) 償還条項付き証券
- (b) 2019年3月29日時点の変動利付証券
- (c) 永久債

ダイワ豪ドル建て高利回り証券α（毎月分配型）

2019年3月29日現在の通貨αクラスの外国為替先渡契約残高（純資産の0.0%）：

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価（損）	純評価益 / (損)
AUD	Citibank N. A.	227,233	2019/4/1	JPY	17,861,900	\$ 55	\$ —	\$ 55
						\$ 55	\$ —	\$ 55

2019年3月29日現在の通貨αクラスの売建オプション残高（純資産の-0.2%）：

取引内容	行使価格	満期日	想定元本	受取プレミアム	評価額
Call - Japanese Yen vs. Australian Dollar	\$ 79.05	2019/4/12	¥ 10,000,000	\$ (115,392)	\$ (41,099)
Call - Japanese Yen vs. Australian Dollar	78.55	2019/4/12	9,000,000	(91,164)	(63,992)
Call - Japanese Yen vs. Australian Dollar	78.56	2019/5/10	19,000,000	(244,698)	(215,732)
				\$ (451,254)	\$ (320,823)

通貨の略称：

AUD - 豪ドル

JPY - 日本円

<補足情報>

当ファンド（ダイワ豪ドル建て高利回り証券α（毎月分配型））が投資対象としている「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の決算日（2018年12月10日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第62期の決算日（2019年10月17日）現在におけるダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの主要な売買銘柄

2019年4月18日～2019年10月17日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2019年10月17日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

運用報告書 第10期 (決算日 2018年12月10日)

(作成対象期間 2017年12月12日～2018年12月10日)

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行いません。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

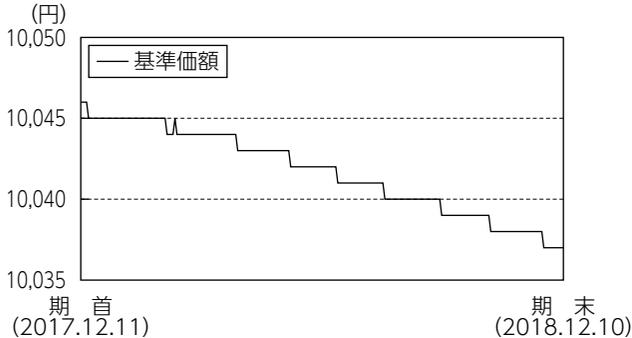
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 率
	騰 落 率	組 入 比	
	円	%	%
(期首)2017年12月11日	10,046	-	-
12月末	10,045	△0.0	-
2018年 1 月末	10,045	△0.0	-
2 月末	10,044	△0.0	0.5
3 月末	10,044	△0.0	-
4 月末	10,043	△0.0	-
5 月末	10,042	△0.0	-
6 月末	10,041	△0.0	-
7 月末	10,040	△0.1	-
8 月末	10,040	△0.1	-
9 月末	10,039	△0.1	-
10月末	10,038	△0.1	-
11月末	10,037	△0.1	-
(期末)2018年12月10日	10,037	△0.1	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なっており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,046円 期末：10,037円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

マイナス金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

当作成期首より、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持し、2018年7月には金融緩和継続のための枠組み強化を決定しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	3 (3)
合 計	3

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
 (注2) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	900,005	- (900,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
723 国庫短期証券 2018/3/5	400,003		
757 国庫短期証券 2018/8/13	290,001		
731 国庫短期証券 2018/7/10	210,000		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2018年12月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	69,363,521	100.0
投資信託財産総額	69,363,521	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年12月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	69,363,521,826円
コール・ローン等	69,363,521,826
(B) 負債	4,205,708
その他未払費用	4,205,708
(C) 純資産総額(A - B)	69,359,316,118
元本	69,103,393,644
次期繰越損益金	255,922,474
(D) 受益権総口数	69,103,393,644口
1万口当り基準価額(C/D)	10,037円

* 期首における元本額は126,824,072,530円、当作成期間中における追加設定元本額は34,268,505,333円、同解約元本額は91,989,184,219円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米ドル・プルファンド (適格機関投資家専用) 688,792,367円、ダイワ米ドル・ベアファンド (適格機関投資家専用) 13,951,738,463円、ダイワ・マネーポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用) 1,089,639円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015-07 (為替ヘッジあり) 1,247,428,788円、通貨選択型 米国リート・αクワトロ (毎月分配型) 159,141円、通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ (毎月分配型) 159,141円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015-10 (為替ヘッジあり) 267,324,664円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015-10 (為替ヘッジあり) II 74,557,679円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015-12 (為替ヘッジあり) 207,961,746円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-02 (為替ヘッジあり/限定追加型) 158,901,180円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-08 (為替ヘッジあり/限定追加型) 1,350,789,013円、オール・マーケット・インカム戦略 (資産成長重視コース) 9,963円、オール・マーケット・インカム戦略 (奇数月定額分配コース) 9,963円、オール・マーケット・インカム戦略 (奇数月定率分配コース) 9,963円、オール・マーケット・インカム戦略 (予想分配金提示型コース) 9,963円、ダイワJPX日経400ベア・ファンド (適格機関投資家専用) 3,783,296,400円、AHLターゲットリスク・ライト戦略ファンド (適格機関投資家専用) 1,692,026,279円、ダイワユーロベア・ファンド (2倍、非リバランス型) (適格機関投資家専用) 852,128,164円、ダイワ米ドルベア・ファンド (2倍、非リバランス型) (適格機関投資家専用) 33,557,519,292円、ダイワ/ロジャーズ国際コモディティTM・ファンド5,408,343円、ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型) 998円、ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 998円、ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド (通貨選択型) アジア通貨・コース (毎月分配型) 998円、ダイワTOPIXベア・ファンド (適格機関投資家専用) 11,262,889,374円、ダイワ豪ドル建て高利回り証券α (毎月分配型) 9,949円、ダイワ米国国債7-10年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - USトライアングル - 997,374円、ダイワ豪ドル建て高利回り証券ファンド - 予想分配金提示型 - 173,802円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,037円です。

■損益の状況

当期 自2017年12月12日 至2018年12月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 40,939,945円
受取利息	308,822
支払利息	△ 41,248,767
(B) 有価証券売買損益	△ 2
売買損	△ 2
(C) その他費用	△ 26,534,819
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 67,474,766
(E) 前期繰越損益金	577,677,502
(F) 解約差損益金	△399,394,006
(G) 追加信託差損益金	145,113,744
(H) 合計(D + E + F + G)	255,922,474
次期繰越損益金(H)	255,922,474

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。